

令和5年度（第2回）半田市特別職報酬等審議会要旨録

開催日時	令和5年12月27日（水）	10時30分～11時00分
開催場所	半田市役所 庁議室	
会議次第	1. 会長あいさつ 2. 審議 3. 答申 4. その他	
出席委員	（会長） 中埜 喜夫 （半田商工会議所 副会頭） （委員） 岩橋 康悟 （半田市区長連絡協議会 理事） 戸嶋 一将 （半田青年会議所 前理事長） 野々村 照義 （半田市商店街連合会 会長） 杉本 裕香 （知多半島こどもまなびラボ 代表） 金澤 涼子 （半田市PTA連絡協議会 前副会長） 桑山 忍 （知多中部労働組合連絡協議会） 福田 昌寛 （連合愛知知多地域協議会 代表） 入山 芳樹 （知識経験者） 間瀬 文夫 （知識経験者） ※敬称略	
事務局	企画部長 山田宰、人事課長 毛利悦子、人事課副主幹 田中元寛	
その他出席職員	答申のための出席者 市長 久世孝宏	
次第	議事要旨	
【審議】	（会長） ・前回の審議で、市長、副市長、教育長、議長、副議長、議員の報酬等はすべて据え置きということを審議会の結論として決定した。 ・事前に答申案を見ていただいているが、皆様のご意見をお聞かせ願いたい。	
	（委員） ・内容的には良いと思うが、【審議会としての意見】で用いられている「市民感情」という表現について、行政が市民に対して行うアンケートを「市民意識調査」としているように「感情」を「意識」に直してはどうか。行政の意思を感情によって決めると誤解されてもいけないので、答申書の表現としては「市民の意識」が良いと考える。	

	<p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の提案に対する意見や追加の提案があれば発言いただきたい。 <p>(出席委員全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、提案のあった「市民感情」を「市民の意識」に修正したうえで、答申書としてよろしいか。 <p>(出席委員全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議なし
<p>【答申】</p>	<p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の審議では、久世市長が就任されて2年半、改善や改革が進み、良くなっていると評価する中で、報酬等を引き上げて良いのではないかという意見もあった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は未だ終息せず、まだまだ厳しい状況も見られることなどから、時機的に早いということで、最終的には全会一致で据え置きという結論に至った。 ・子育てに関する施策を始め、市長が掲げている取組の実現に邁進し、次年度は全会一致で引き上げという意見になるよう頑張っていたいただきたいという想いを込めて答申させていただく。 <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政に対する評価というのは難しく大変なことだと思われるが、答申書をまとめていただき感謝を申し上げたい。 ・私どもは頑張っているつもりだが、自分たちが頑張っているから良いというものではなく、あくまで市民の皆様に評価していただくものだとして常々心がけている。会長からの言葉は、私だけでなく職員にも励みになるもので、据え置きという結果だけでなく、この審議会での意見や過程を職員と共有し、また1年間頑張っていきたい。どうか引き続き市政をしっかり見守っていただきたい。